

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

潰瘍性大腸炎におけるタクロリムス導入初期量に関する調査

1. 研究の対象および研究対象期間

平成26年4月から平成29年11月に昭和大学江東豊洲病院で内服タクロリムスが処方された潰瘍性大腸炎患者

2. 研究目的・方法

潰瘍性大腸炎の治療薬のひとつにタクロリムスという飲み薬があります。このお薬は、免疫抑制剤と呼ばれるお薬で、血中濃度（血液中のお薬の濃度）を測りながら量を調節していきます。潰瘍性大腸炎においては開始後の早い時期に高い血中濃度（血液中のお薬の濃度）を得ることで効果が高く発揮されるといわれていますが、初期の調節がなかなかうまくいかないこともあります。そこで、潰瘍性大腸炎におけるタクロリムス導入の適切な使用法を検討するために、導入初期量と血中濃度、効果について調査します。

研究期間

2018年1月25日～ 2018年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

タクロリムスの処方歴（投与方法・投与量）、食事の有無、タクロリムス血中濃度値、測定日、患者背景（年齢、性別、診断名、重症度、体重、併用薬）、発現した副作用、臨床検査項目（血液、尿）、症状（腹痛、血便）、内視鏡所見

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 薬学部病院薬剤学講座（昭和大学江東豊洲病院薬局）

氏名： 渡邊 亜矢子

住所： 135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38

電話番号：03-6204-6000

研究責任者：薬学部病院薬剤学講座 教授 佐々木 忠徳